

タナトリル錠 10

【この薬は？】

販売名	タナトリル錠 10 TANATRIL Tablets 10
一般名	イミダプリル塩酸塩
含有量 (1錠中)	10mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アンジオテンシン変換酵素阻害薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・アンジオテンシン変換酵素（ACE）の働きを阻害することで、血管を収縮する作用のある体内の物質（アンジオテンシンⅡ）の生成を抑え、血圧を下げます。
- ・次の病気の人に処方されます。

高血圧症

腎実質性高血圧症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にタナトリル錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・過去に血管浮腫になったことがある人
- ・アフエレーシス^{*1}を受けている人で、デキストラン硫酸固定化セルロース、トリプトファン固定化ポリビニルアルコールまたはポリエチレンテレフタレートを用いた吸着器を使っている人
- ・血液透析^{*2}を受けている人で、アクリロニトリルメタリルスルホン酸ナトリウム膜（AN69）を使っている人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・アリスキレン（ラジレス）を使用している糖尿病の人（ただし、その他の血圧を下げる治療を並行して行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）

※1 アフエレーシス：患者さんの血液中から不必要な成分を取り除いて、浄化した血液を再び患者さんに戻す方法

※2 血液透析：患者さんの血液を体外へ送り出し、人工腎臓（透析装置）で血液中にたまった老廃物を取り除き、水や電解質のバランスを整え、きれいになった血液を再び患者さんに戻す方法

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・腎動脈狭窄のある人
- ・高カリウム血症の人
- ・腎臓に重篤な障害がある人
- ・脳血管に障害がある人
- ・高齢の人

○この薬には次のような併用してはいけない治療法があります。アフエレーシスや血液透析を受ける場合は、必ず医師に相談してください。

- ・アフエレーシスでデキストラン硫酸固定化セルロース、トリプトファン固定化ポリビニルアルコールまたはポリエチレンテレフタレートを用いる場合
- ・血液透析でアクリロニトリルメタリルスルホン酸ナトリウム膜を用いる場合

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状や腎機能などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

一回量	5～10mg
飲む回数	1日1回

- ・重い高血圧の人、腎臓に障害のある高血圧の人または腎実質性高血圧症の人は2.5mg から飲み始めることがあります。

● **どのように飲むか？**

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

● **飲み忘れた場合の対応**

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

● **多く使用した時（過量使用時）の対応**

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・腎臓に障害がある人やコントロール不良の糖尿病の人は高カリウム血症をおこすおそれがあるため、これらの人では必要に応じて血液検査がおこなわれます。
- ・この薬の飲み始めに一時的に急激な血圧の低下（立ちくらみ、めまい、頭痛）があらわれることがあるため、そのような場合には、医師に連絡してください。特に、次の人は十分注意してください。
 - ・重い高血圧症の人
 - ・血液透析中の人
 - ・利尿降圧剤を使用している人（特に最近使用を開始した人）
 - ・嚴重な減塩療法中の人
- ・血圧が下がることにより、めまい、ふらつきがあらわれることがあるため、高所作業、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。
- ・手術前24時間はこの薬を使用しないことが望ましいので、手術を受ける場合、必ずこの薬を飲んでいないことを医師に伝え、医師の指示に従ってください。

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使うことができません。
- ・この薬を使用中に妊娠が判明した場合は、ただちに医師に相談してください。
- ・妊娠する可能性がある人は、医師や薬剤師に、この薬が妊婦や胎児に影響を及ぼす可能性があることについて説明を受け、十分に理解してください。特に、妊娠の希望や予定のある人は、医師に相談してください。
- ・授乳中の方は、授乳を中止してください。

薬の影響を心配する女性に対し、妊娠と薬情報センターで相談に応じています。さらに詳しい説明を希望される場合には妊娠と薬情報センターにご相談ください。

《妊娠と薬情報センター》

（国立成育医療研究センター）電話：03-5494-7845

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいないことを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血管浮腫 けっかんふしゅ	まぶた・唇・舌のはれ、息苦しい、じんましん
重篤な血小板減少 じゅうとくなけっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、意識の低下、頭痛、眼がはれぼったい、息苦しい、尿がでない、尿量が減る
腎機能障害の増悪 じんきのうしょうがいのぞうあく	頭痛、顔のむくみ、眼がはれぼったい、尿量が減る
重篤な高カリウム血症 じゅうとくなこうかりうむけつしょう	唇がしびれる、手足が動きづらい、手足に力が入らない、手足のしびれ、手足のまひ、筋肉が衰える、筋力の減退
紅皮症（剥脱性皮膚炎） こうひしょう（はくだつせいひふえん）	発熱、かさぶた、全身の発赤、皮膚がはがれおちる
皮膚粘膜眼症候群（ステイブンス・ジョンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん	からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み
天疱瘡様症状 てんぼうそうようしょうじょう	全身の激しいかゆみ、全身の皮膚や鼓膜に生ずる大小の水ぶくれ（水疱）、破れやすい水ぶくれ（水疱）

同類薬（アンジオテンシン変換酵素阻害剤）であられる、特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。この薬でもあられる可能性があります。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸（どうき）、あおあざができる、出血しやすい
腭炎 すいえん	吐き気、嘔吐（おうと）、胃・おなかの激しい痛み、背中の痛み

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、発熱、高熱、全身の激しいかゆみ
頭部	意識の低下、頭痛、めまい
顔面	鼻血、顔のむくみ
眼	まぶたのはれ、眼がはれぼったい、まぶたや眼の充血、結膜のただれ
耳	耳鳴り
口や喉	唇がしびれる、唇のはれ、舌のはれ、歯ぐきの出血、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、吐き気、嘔吐
胸部	息苦しい、息切れ、動悸、吐き気
腹部	食欲不振、胃・おなかの激しい痛み、吐き気
背中	背中での痛み
手・足	手足が動きづらい、手足に力が入らない、手足のしびれ、手足のまひ
皮膚	じんましん、あおあざができる、皮下出血、かさぶた、全身の発赤、皮膚がはがれおちる、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、全身の皮膚や鼓膜に生ずる大小の水ぶくれ（水疱）、破れやすい水ぶくれ(水疱)
筋肉	筋肉が衰える、筋力の減退
尿	尿がでない、尿量が減る
その他	出血が止まりにくい、出血しやすい、陰部の痛み

【この薬の形は？】

販売名	タナトリル錠 10
PTP シート	
形状	素錠 
直径	6.5mm
厚さ	2.6mm
重さ	0.09g
色	白色
識別コード	TA136

【この薬に含まれているのは？】

販売名	タナトリル錠 10
有効成分	イミダプリル塩酸塩
添加物	ステアリン酸マグネシウム、乳頭水和物、マクロゴール 6000

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：田辺三菱製薬株式会社

(<http://www.mt-pharma.co.jp>)

くすり相談センター

電話：0120-753-280

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日、会社休業日を除く）